

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【公開番号】特開2018-198714(P2018-198714A)

【公開日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2018-049

【出願番号】特願2017-104316(P2017-104316)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者によって操作可能な操作手段と、

所定の始動条件の成立に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間を発生可能な受付期間発生手段と

を備え、

前記演出受付期間の発生に先立って、第1前兆演出が実行開始されるときと、該第1前兆演出が実行されずこれとは異なる第2前兆演出が実行開始されるときとがあり、

前記第1前兆演出が実行開始されてから前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間が発生する場合は、該演出受付期間内で前記操作手段に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させるようになっており、

前記第2前兆演出が実行開始されてから前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間が発生する場合は、該演出受付期間内で前記操作手段に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させる場合と、該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させない場合とがあるようになっており、さらに、

遊技機の状態を判定する状態判定手段と、

当該遊技機が特定の状態になったことが前記状態判定手段により判定された場合、複数種類の報知音のうち特定の報知音を可聴出力させる報知音出力手段と、

音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手段と、

前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて音量を調整可能な音量調整手段とを備え、

前記音量設定値の変更が受け付けられて音量が調整されると該調整された音量で音量調整確認音が可聴出力されうるが、前記特定の報知音が可聴出力されている状態において音量設定値の変更が受け付けられたときには前記音量調整確認音は可聴出力されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、このようなパチンコ機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：遊技者によって操作可能な操作手段と、

所定の始動条件の成立に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間を発生可能な受付期間発生手段と

を備え、

前記演出受付期間の発生に先立って、第1前兆演出が実行開始されるときと、該第1前兆演出が実行されずこれとは異なる第2前兆演出が実行開始されるときとがあり、

前記第1前兆演出が実行開始されてから前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間が発生する場合は、該演出受付期間内で前記操作手段に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させるようになっており、

前記第2前兆演出が実行開始されてから前記操作手段に対する操作の受付けが許容される演出受付期間が発生する場合は、該演出受付期間内で前記操作手段に対する操作の受付けがなされないときに該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させる場合と、該受付けがなされたときと同じ操作後演出を発生させない場合とがあるようになっており、さらに、

遊技機の状態を判定する状態判定手段と、

当該遊技機が特定の状態になったことが前記状態判定手段により判定された場合、複数種類の報知音のうち特定の報知音を可聴出力させる報知音出力手段と、

音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手段と、

前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて音量を調整可能な音量調整手段とを備え、

前記音量設定値の変更が受け付けられて音量が調整されると該調整された音量で音量調整確認音が可聴出力されうるが、前記特定の報知音が可聴出力されている状態において音量設定値の変更が受け付けられたときには前記音量調整確認音は可聴出力されない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】